

評価項目	種類	質問等の内容	回答内容
10 (3)	1	<p>前回の質問でもお尋ねしましたが、回答でインシデント件数を維持しながらも、アクシデント件数が半減したことは大きな成果とのことですが、インシデント件数が維持されたことが良い結果なのかが分かりにくい。</p>	<p>インシデントとは、事故には至らなかったが適切な処理が行われないと事故になる可能性がある事象のことを言います。</p> <p>「ハインリッヒの法則」(= 1 件の重大な事故の裏には、29 件のアクシデント、300 件のインシデントがある) も踏まえて、インシデントを早い段階で把握・分析し、適切な安全対策を講じることがアクシデント並びに重大な事故の未然防止に寄与することと考えています。</p> <p>インシデントの報告がなければ、それを蓄積・分析・活用することはできません。そのことから、多種多様なインシデントを報告する体制・環境が整っている必要があります。</p> <p>委員ご指摘のように、実際にはインシデント件数も少ない方が望ましいかもしれませんが、しかし、インシデント件数が減少することは、報告体制の弱体化にもつながります。(件数を減少させようとするれば、報告しなければ減少することになります。)</p> <p>しかし当院では、アクシデント等の未然防止のため、どんな軽微なインシデントでも報告をする体制・環境や、その機能の維持を重視しています。</p> <p>よって、インシデント件数の維持は、決して悪い結果とは考えず、むしろ報告する機能が維持されていると考えます。</p>
11 ア	1、 2	<p>調査項目のうち「待ち時間」については、集計・分析はされていないのでしょうか。(アンケート結果総括では見当たらないので)</p>	<p>別添資料として提出した「患者アンケート結果総括」は患者満足度を中心にまとめたもので、項目毎の調査結果は記載されていませんでした。</p> <p>問 4 「待ち時間」項目に関する集計・分析結果は、別紙のとおりです。</p> <p>また、診察待ち時間については、外来看護部門において年 2 回 (各々 1 週間 : 月 ~ 金) 集計し、診療科別の分析等を行って</p>

評価項目	種類	質問等の内容	回答内容
			<p>います。</p> <p>会計においても、事務局医事経営課において、年2回（各々1週間以上）集計し、平均待ち時間等の現状の把握に努めています。</p>
15（オ）	1 1、2	<p>事務局のマネジメントシートのホームページアクセス数では、目標 180,000 件に対し 171,141 件と下回っている。ではなく と評価をしたプラス材料はなんだったのでしょうか。</p> <p>23 年度までと比べて、新しく実施したことやより力を入れて実施したこと、計画を上回ったと評価されたポイントを具体的にお教えてください。</p>	<p>病院のホームページを改良し、単なる診療科の紹介だけでなく、「物忘れ外来」、「緩和ケア外来」等の専門外来の情報提供を行い、市民、患者への情報提供に努めました。</p> <p>事務局の数値目標（ホームページアクセス数）は95%達成ですが、「がん市民公開講座」や広報誌「医療センターニュース」等において、年度計画の内容を十分達成するとともに、それに加えて、病院ホームページの改良を実施し、「保健医療情報の発信」という観点からは、年度計画内容を上回っていると判断しました。</p>
38 2	1	現在係争事案が無いかどうか確認したい。	平成 24 年度から現在に至るまで、周辺住民や関係団体等との係争や、医療行為による患者との係争の事案はありません。